

名都借の木

No. 35



2020年10月6日発行
発行者:流山市立木の図書館
(指定管理者:株式会社すばる)
住所:流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000



2020 年度読書週間 10/27-11/9
「ラストページまで
駆け抜けて」

今年の読書週間の標語は

「ラストページまで駆け抜けて」

です。作者の野呂美由紀さんによれば、

「本は自分のペースで読み進められます。
道のりが困難でもゴールは待っていてくれる。
あなたを待っている物語がきっとあると思います。」
とのこと。

アンソロジーを駆け抜けて



なかいかおりさんによる
読書週間ポスター



推理小説、時代小説、SF、
軽い読み物など、さまざまな
分野のアンソロジー

本には、1人の作家が書いた色々な作品から選り抜きを集めたものや、あるテーマや文章の型式などによって複数の作家の作品を集めたもの、いわゆるアンソロジーと呼ばれるものがあります。

長編小説をマラソン、短編小説を 100m 走に例えるとしたら、アンソロジーはさしずめトライアスロンや女子7種でしょうか。

1 つの物語を走り切る楽しさもありますが、1 つの本として編まれたいろいろな物語を駆け抜けるのもまた楽しいと思います。この秋、いろいろなアンソロジーが図書館の本棚でお待ちしています。

ことばの花束



アンソロジーという呼び方は、古代ギリシャで選りすぐりの詩を集めたものを「花集め」(「花:アンソス」+「集めること:ロギア」)と呼んだことに由来しています。日本では伝統的に和歌のアンソロジーが編まれており、代表的なものとしては、小倉百人一首が挙げられます。

百花繚乱 時代小説



田辺聖子著「田辺聖子の小倉百人一首 上下」(角川書店, 1993 年)

現代では、いろいろな分野でアンソロジーが編まれています。

例として時代小説を見てみましょう。1 人の作家、あるいはいろいろな作家の作品から、「剣客」「忍者」「人情」「捕り物」などのテーマごとに集めたものが、アンソロジーとして編まれています。

いろいろな作家の時代小説を
テーマごとに編んだアンソロジー





はじめよう、芸術



この本もおすすめてです！



渡辺 芳子／著
『60歳からはじめる色鉛筆画』
(河出書房新社)

～ 色鉛筆で絵を描こう ～

芸術という言葉を知ると、
まず絵が思い浮かぶ方は
多いのではないのでしょうか。

絵を描いてみたいけど、
始め方がわからない…。

そんなあなたにおすすめ

したいのがこちらの色鉛筆画の本です。色鉛筆画は
始めるのに必要な道具が少なく、間違えてもすぐに
消してやり直すことができますし、片付けも簡単です。

こちらの本ではお題ごとに手順が説明されていて、
その通りに進めていけば絵を描き上げられるように
なっているので、はじめての方におすすめです。



『かんたん あたらしい
はじめての切り紙』
(日本ヴォーグ社)



武田 双雲／著
『知識ゼロからの書道入門』
(幻冬舎)



他にこんな本もあります！



一眼レフカメラの基本的なことが
書かれているので、初めてのの人に
ぴったりな入門書です。

鈴木 知子／著
『写真が絶対うまくなる
デジタル一眼カメラ入門』
(SBクリエイティブ)



弦の張り方や構え方といった
基礎の基礎から書かれています。
有名曲の譜面も載っていますよ。

自由現代社／編
『初心者のための
アコースティック・ギター講座』
(自由現代社)

木の図書館イベント情報

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、木の図書館でもイベントの開催を
見合わせておりましたが、現在は感染拡大防止の対策を取りながらイベントの
開催を再開させていただいております。

7月から9月までの3カ月間で、「ヒストリーカフェ」・「図書館脱出ゲーム」・
「シネマトーク」といったイベントを無事に開催することができました。

新型コロナウイルスの状況を考慮しながらはなりますが、「大人のおはなし会」
などのイベントを今後も予定しております。時期が近くなりましたら館内や
木の図書館ホームページなどでイベントの詳細情報を発信いたしますので、

詳しくはそちらをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。



子どもの木



今年の秋は読書×音楽はいかが？

芸術の秋。みなさんは何をして過ごしますか？ 今回は、音楽をテーマに4冊ご紹介いたします。



音楽の都ヴェネチアが舞台のおはなしです。ガブリエラの歌が町中に流れていく様子を見ると、さすが音楽の都！と思うかも？

『町にながれるガブリエラのうた』

キャンデス・フレミング／さく ジゼル・ポター／え
こだま ともこ／やく (さ・え・ら書房)

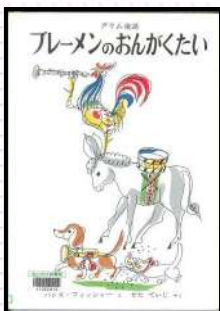


この『ヘンゼルとグレーテル』は、グリム童話の同名作品をもとにしたオペラ版となっています。巻末には、音楽の手引きとして、オペラ版の解説や作曲家についても書かれているので、詳しく知りたい方におすすめです。

音楽のえほん 11

『ヘンゼルとグレーテル』

東 龍男／文 秋元 純子／絵 (岩崎書店)



としをとったろば、いぬ、ねこ、おんどりが出会い、おながくたいにはいろいろとブレーメンのまちをめざしますが…彼らがどうなるのかぜひよんでみてください。

『ブレーメンのおながくたい』

ハンス・フィッシャー／え せた ていじ／やく
(福音館書店)



音楽好きなハムスターの医者であるコツブのもとに、なかなか虫たちが「音楽をやりたい」と相談に来ます。音を出す工夫を教えてあげると彼らは大喜び！音楽隊をつくって音楽会に出るというけれど…どうなるか最後まで目がはなせないおはなしです。

『ムジカの森の音楽隊』

さくらい ともか／著
(くもん出版)



イベント情報

くわしくは、館内ポスターや広報、ホームページをご覧ください。

10月 親子でつくろう！バスボム



11月 クリスマスリースをつくろう！

12月 クリスマスおはなし会スペシャル



みなさまのご参加、
おまちしています♪



これからの木の図書館

連絡先

木の図書館

電話:04-7145-8000

年末年始の閉館のお知らせ

流山市立図書館では、
12月28日(月)から1月4日(月)の間は、
閉館となります。



郷土へのいざない vol. 26 ～福性寺の大銀杏

千葉県内の巨樹・古木ガイドで見つけた、福性寺(ふくしょうじ)の大銀杏。流山市保存樹木に指定されています。樹高 20 メートル、推定 500 年だそうで、実際に見ると圧倒的な存在感で迎えてくれます。樹齢推定 500 年とは、戦国時代に目を出したってこと……。



福性寺:住宅街にあり、境内は静か。
向かって右に大銀杏があります



お地蔵さまも毛糸の帽子に衣替え。



大銀杏がある福性寺は、本尊が大日如来。開基は不詳ですが真言宗の古刹(こさつ)。境内には、流山七福神の毘沙門天が祀られていて、札所としても知られています。

参考資料:千葉県内巨樹・古木ガイド(2008年,千葉県農林水産部森林課)

千葉県公式観光物産サイト まるごとeちば (<http://maruchiba.jp/sys/data/index/page/id/8851>)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

斜線は休館日 青は17:00まで開館

青枠はイベント

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)

月末日(土・日・祝日を除く)

年末年始(12/29~1/4)

開館時間 火曜日~土曜日

日曜日、祝日

:9時30分~19時

:9時30分~17時